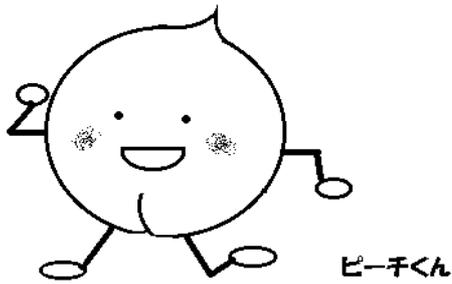

奨学金ガイド

2026年度版

成蹊大学 学生部

学籍番号	氏名



奨学金に関するお知らせ・手続きは

SEIKEI PORTAL

を通じて、学生の皆さんにお知らせしています。

毎日必ずチェックする習慣をつけましょう！

奨学金は学業に励むあなた自身に給付または貸与されるものです。貸与奨学金であれば、あなた自身が返還していくことになります。

奨学金に応募する際には、自分の現在・将来の生活設計に基づき、自分自身でどの奨学金に応募するかを決め、書類の準備・作成やWebでの申請は必ず本人が行わなくてはなりません。

また、奨学金は応募した全員が採用されるわけではありません。

奨学生に採用となったら、応募から返還まで自覚を持って各種手続きを行うようにしてください。

奨学金担当部署

成蹊大学学生部

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

TEL 0422-37-3539

E-mail shogakukin@jc.seikei.ac.jp

目次

I. 奨学金制度について	1
1. 目的	1
2. 奨学金の種類と特色	1
3. 奨学金の募集と応募	1
4. 奨学金に関する連絡・問い合わせ	1
II. 奨学金の種類	2
1. 大学独自の奨学金	2
2. 財団等の奨学金	5
III. 選考・推薦の基準	7
1. 学力基準	7
2. 人物	7
3. 家計基準	8
4. 推薦の原則について	9
IV. 奨学金手続きについて	12
1. 応募から振込までのスケジュール	12
2. 応募申請に必要な書類（大学独自・財団等の奨学金）	14
3. 応募方法について（大学独自・財団等の奨学金）	18
4. 採用の決定	21
V. 大学院生の奨学金について	22
1. 奨学金の種類	22
2. 【大学院生】応募申請に必要な書類	22
3. 応募について	24
VI. 参考・資料	27
奨学金応募・採用状況（2025年度）	27

I. 奨学金制度について

1. 目的

奨学金制度の目的は、経済的な理由により修学が困難な学生に対して一定の金額を「給付」または「貸与」することで、できるだけ学業に専念できるようにすることにあります。

2. 奨学金の種類と特色

奨学金は、奨学生を採用する主体によって、国・地方自治体・財団等および学内奨学金等に分かれ、さらに返還の必要のない「給付」奨学金と、卒業後返還しなければならない「貸与」奨学金があります。

採用する主体によって各奨学金制度は異なりますので、一概にその特色を述べることはできませんが、貸与奨学金は家計、給付奨学金は人物および学業成績を重視しています。

本学で扱っている奨学金は、巻末の「奨学金制度一覧表」を参照してください。

3. 奨学金の募集と応募

募集は、原則として年1回（4月）のみ行います。ただし、生計維持者の失職や死亡等、家計の急変があった場合は、随時受け付けるものもありますので、学生部まで相談してください。

応募に際しては、このガイドを熟読の上、応募する奨学金を吟味し、書類の準備・作成やWebでの申請は必ず本人が不備のないように行ってください。

また、奨学金は、応募資格があればどなたでも応募することができますが、各奨学金とも採用人数等に制限がありますので、希望に沿いかねることがあります。

なお、当該年度原級（留年（留学による進級留めも含む。ただし休学による進級留めは除く））の学生は応募資格がありません。

4. 奨学金に関する連絡・問い合わせ

奨学金に関すること（募集、採用決定、各種手続き等）は、原則としてすべてSEIKEI PORTALまたは大学から付与されているアドレス（学部生：u+学籍番号@cc.seikei.ac.jp、大学院生：d+学籍番号@cc.seikei.ac.jp）にて告知しますので、こまめにチェックしてください。

奨学金に関する質問がある場合は、必ず本人が学籍番号・氏名を名乗った上で学生部に問い合わせてください。本人以外からの問い合わせには原則としてお答えできません。

Ⅱ. 奨学金の種類

※日本学生支援機構の奨学金の概要、応募方法等については、別途大学ホームページ、SEIKEI PORTALにて通知いたします。

奨学金には、大学独自の奨学金・日本学生支援機構の奨学金・財団等の奨学金があり、さらに給付奨学金と貸与奨学金に分かれています。

給付奨学金とは、返還義務のない奨学金のことです。多くの方がこの奨学金を希望されますが、選考にあたって学業成績が重視されますので、給付奨学金を希望される方は、普段より勉学に力を注いでください。

貸与奨学金とは、返還義務のある奨学金のことです。したがって、卒業・退学・除籍等で学籍を離れたら、あらかじめ定められた返済方法により返還しなければなりません。

本学の奨学金制度については、本書巻末の「奨学金制度一覧」を参照してください。

1. 大学独自の奨学金

(1) 成蹊大学給付奨学金 <給付>

★本学の学生の育英を図るために必要な学資の援助を行うことを目的としています。

◆応募資格：全学部1～4年次生で、学業成績、人物ともに優秀な者のうち、学資の援助を必要とする者

◆給付額：年額 300,000円

※年額を前期（7月下旬～8月上旬）と後期（11月上旬）に分けて支給
（本書P.13参照）

◆給付期間：1年間

※毎年応募することは可能です。

◆募集人数：1年次生 60名（各学部10名）

2～4年次生 100名（各学部20名）

◆選考・採用基準

家計基準：日本学生支援機構第一種の基準による。（本書P.8～9参照）

学力基準：1年次生は全体の学習成績の状況が4.0以上、2年次生以上は 通算GPA値2.7以上
家計基準を満たしている者の中で、成績順に選考・採用します。

(2) 岡野奨学金 <給付>

★岡野基金（故 岡野保次郎氏の遺志による寄付金）を育英資金として、学生の育英を図ることを目的としています。

◆応募資格：全学部2～4年次生で、学業成績、人物ともに優秀な者のうち、学資の援助を必要とする者

◆給付額：年額 90,000円

※年額を前期（7月下旬～8月上旬）と後期（11月上旬）に分けて支給
（本書P.13参照）

◆給付期間：1年間

※毎年応募することは可能です。

◆募集人数：10名（各学部2名）

◆選考・採用基準

家計基準：日本学生支援機構第一種の基準による。（本書P.8～9参照）

学力基準：通算GPA値2.7以上

家計基準を満たしている者の中で、成績順に選考・採用します。

(3) 関育英奨学金 <給付>

★関育英奨学金（故 関 義長氏ご遺族の寄贈による基金）を育英資金として、学生の育英を図ることを目的としています。

◆応募資格：故人の遺志に基づき、主として電気・原子力関係を専攻する学部生、大学院生で、学業成績、人物ともに優秀で、学資の援助を必要とする者

◆給付額：年額 120,000円

※年額を前期（7月下旬～8月上旬）と後期（11月上旬）に分けて支給
（本書P.13参照）

◆給付期間：1年間

◆募集人数：若干名

◆選考・採用基準

家計基準：日本学生支援機構第一種の基準による。（本書P.8～9参照）

学力基準：通算GPA値2.7以上

関育英奨学金選考委員会において選考されます。

※指導教授の署名・押印のある推薦所見の提出が必要です。指導教授へ推薦所見（A4サイズ、任意様式）の作成をお願いしてください。

(4) 成蹊会育英奨学金 <給付・貸与>

★一般社団法人成蹊会（卒業生団体）が成蹊建学の精神に鑑み、独自に設けた育英奨学制度です。

◆応募資格：

全学部2～4年次生または大学院(博士前期課程)1年次生で、学業、人物ともに優秀であるが、経済的理由で修学が困難な者

成蹊会に入会し、会費を納入することに同意する者

※成蹊会育英奨学金（給付）と同奨学金（貸与）の両方に応募することはできませんが、両方に推薦されることはありません。（併用不可）

※全学部2～4年次で成蹊会育英奨学金（給付）もしくは同奨学金（貸与）に採用されている場合は、大学院（博士前期課程）1年次で応募することができません。

◆給付・貸与額 ※年4回に分けて3ヵ月分をまとめて支給

【給付】 月額 40,000円

【貸与】 月額 50,000円 <無利子貸与>

*【貸与】 地方出身学生生活支援制度（給付）あり

成蹊会育英奨学金貸与奨学生で、申請時に生計維持者が関東地方一都四県（東京、神奈川、埼玉、千葉、山梨）を除く地域に居住している学生には、月額30,000円の返還義務のない給付金を支給します。（最大10名）

◆給付・貸与期間：最短修業年限

◆募集時期：年1回（4月）

◆募集人数：【給付】10名 【貸与】15名

◆選考・採用基準

家計基準、学力基準、「申請理由書」にて総合判断し、成蹊会育英奨学委員会で選考します。

○家計基準：日本学生支援機構奨学金第一種の家計基準の算出方法に準じ、家計基準値で1.5未満（本書P.8～9参照）

○学力基準：【給付】通算GPA値2.7以上
【貸与】通算GPA値2.5以上

○「申請理由書」：「希望奨学金申請フォーム」から入力すること（本書P.18参照）
<入力項目>※選考委員会資料に使用します。フォーム入力前に下記の記載事項を準備し、具体的かつ詳細に入力してください。

1. 経済事情(申請理由)について
2. 将来像と学生生活について
3. 奨学金を受けた場合、どのように学生生活や将来に向けて活用するか
4. 成蹊会について（設立理由・主な活動内容等、具体的に知っていること）
5. 成蹊会について（卒業後の活動について）
6. その他（1～5に書ききれないこと、連絡事項等）

◆返還について【貸与の場合】

指定口座からの引落し（年2回、2月と7月）により、貸与年数の4倍の期間以内に返還することになります。

2. 財団等の奨学金

財団法人などの団体がそれぞれの設立趣旨に則り奨学生を募集しています。本学で扱う団体は次のとおりです。応募資格・家計基準・学力基準をよく確認し、各財団のご厚意に謝意を表し、各財団から求められる課題提出や交流会参加について成蹊大学（大学院）の代表として責任をもって取り組むことができる方のみ応募してください。以下に掲載している財団等の奨学金は、複数応募することが可能ですが、多くの学生に奨学金を行き渡らせる趣旨から、一人一つのみ受給することができます。学内推薦者として決定後は、すみやかに各財団の推薦書類をご準備いただく必要がございます。なお、学内推薦者となった場合は基本的に採用となる予定ですが、財団等の審査により不採用となることがあります。また、下記に挙げた給付奨学金でも財団法人の運用状況等により募集が中止となる場合がありますのでご注意ください。

【給付奨学金】

名称・奨学金額	応募資格	募集予定者数	支給期間
三菱UFJ信託奨学財団奨学金 ＜月額 70,000円＞	経済・経営・法学部2年次生 父母の年収合計1,000万円未満 満23歳以下（申請する年の4月1日現在）	2名	最短修業年限
関彰育英会奨学金 ＜月額 50,000円＞	全学部2年次生以上、博士前期課程1年次生 ただし、応募資格を満たした者を成績順に並べその中に ①茨城県内所在の高等学校又は中等教育学校後期課程（通信制除く）出身者、または、学生本人の現住所が茨城県である者 ②大学院博士前期課程1年次生がいた場合は、①②の順に優先して推薦します。	1名	最短修業年限
中村積善会奨学金 ＜月額 50,000円＞	全学部2年次生以上 40歳以下（申請時）	1名	最短修業年限
OBC和田財団奨学金 ＜月額 40,000円＞	全学部2年次生 世帯年収500万円未満 24歳以下（申請する年の3月末現在）	2名	最長3年間
日揮・実吉奨学会奨学金 ＜年額 400,000円＞	理工学部2年次生以上、理工学研究科博士前期課程1年次生 学部生23歳以下、大学院生25歳未満（申請時） 日本学術振興会特別研究員でないこと 過去に同奨学金を受給していないこと など	1名	1年間
野崎わかば会奨学金 ＜月額 30,000円＞	理工学科（データ数理専攻・コンピュータ科学専攻のみ） 3年次生	1名	最短修業年限

春秋育英会奨学金 ＜月額 30,000円＞	全学部2年次生以上 26歳以下 原則として保証人の年収が800万円以下	2名	最短修業年限
小田急財団奨学金 ＜月額 22,000円＞	全学部3年次生 家族の年収合計 750万円以下	1名	最短修業年限
オーディオテクニカ奨学金 ＜月額 20,000円＞	理工学部2年次生以上、理工学研究科博士前期課程1年次生	1名	最短修業年限

選考・推薦基準

家計基準：日本学生支援機構第一種の基準による。（本書P. 8～9参照）

なお、財団等において指定がある場合は、その基準も考慮する。

学力基準：通算GPA値2.7以上

【その他】

上記のほか、民間財団や各地方公共団体等でも奨学生を募集することがあります。大学に募集があった奨学金については、その都度、SEIKEI PORTALにて通知します。その他の奨学金は、各民間財団や地方公共団体等に直接問い合わせてください。

Ⅲ. 選考・推薦の基準

選考基準には「学力」「人物」「家計」の基準があります。奨学生として推薦、採用されるためには適格者（全ての基準を満たしている者）である必要があります。

1. 学力基準

学力基準は各奨学金によって異なります。下記基準を参考にしてください。

【学力基準のもとになる値】

学部1年次生：出身高校からの調査書の全体の学習成績の状況

学部2年次生以上：通算GPA値(日本学生支援機構給付のみ通算GPA値・修得単位数いずれか)

【奨学金種類別学力基準】

種 類		学 力 基 準	
		全体の学習成績の状況 (学部1年次生)	通算GPA値 (学部2年次生以上)
大学給付・岡野・関育英・財団給付		4.0 以上	2.7 以上
成蹊会育英（給付）		-	2.7 以上
成蹊会育英（貸与）		-	2.5 以上
参 考 日 本 学 生 支 援 機 構	給付（高等教育の修学支援新制度）	3.5 以上	各学部各学年の上位1/2以内 (もしくは標準単位数以上の修得)
	貸与（第一種・学部）	3.5 以上	各学部各学年の上位1/3以内
	貸与（第二種・学部）	原則として 2.0 以上	原則として 1.3 以上
	貸与（第一種・大学院）	-	2.3 以上
	貸与（第二種・大学院）	-	原則として 1.3 以上

2. 人物

人物の基準については、学修状況その他学生生活全般を通じて、態度・行動が奨学生にふさわしく、将来、良識のある社会人として活躍が期待できる者としています。また、現在の学修状況について、家庭事情欄に入力してください。

3. 家計基準

家計基準は、応募者本人の父と母（またはこれに代わる生計維持者）の税情報等から算出した「算定基準額」が、日本学生支援機構が定める第一種奨学金の「収入基準額（189,400円）」以下（家計基準値（※1）1.0以下）であれば基準を満たしていることになります。なお、学生部ではこの家計基準を満たしているかどうかの事前審査は行いません。ご自分が家計基準を満たすかどうかの学生部への確認はご遠慮ください。ご自身にて試算をお願いします。

$$\begin{aligned} \text{算定基準額（※2）} &= \text{課税標準額（総所得金額－所得控除）} \times 6\% \\ &\quad - \text{市町村民税調整控除額（※3）} - \text{下表の控除額} \\ &\qquad\qquad\qquad (100円未満は切り捨て) \\ &\leq \text{収入基準額 } 189,400\text{円} \end{aligned}$$

（※1）…家計基準値とは「算定基準額 ÷ 収入基準額」の値です。

（※2）…市町村民税所得割が非課税の人は、この計算式にかかわらず、算定基準額が0円となります。

（※3）…政令指定都市に対して市民税を納税している場合は、（市町村民税調整控除額）に3/4を乗じた額となります。

条件	控除額
生計維持者の扶養する子が2人を超える	2人を超える子1人につき40,000円 (例) 生計維持者が「申込者」と「中学生の弟」、「小学生の妹」の3人を扶養している場合の控除額は、 (3-2)人 × 40,000円 = 40,000円となります。
生計維持者がひとり親である者1名のみ	40,000円
申請者が申請日現在自宅外通学である	22,000円

【収入・所得の上限額の目安】（※2、3）

（単位：万円）

	世帯人数	想定する世帯構成	（○）が給与所得者の世帯	（○）が給与所得者以外の世帯
			（世帯の年間の給与収入金額）	（世帯の年間の所得金額）
自宅	2人	本人、親A（○）	777	559
	3人	本人、親A（○）、親B（無収入）	732	550
	4人	本人、親A（○）、親B（○※1）、中学生	827	573
	5人	本人、親A（○）、親B（○※1）、中学生、小学生	923	642
自宅外	2人	本人、親A（○）	826	601
	3人	本人、親A（○）、親B（無収入）	781	591
	4人	本人、親A（○）、親B（○※1）、中学生	877	611
	5人	本人、親A（○）、親B（○※1）、中学生、小学生	977	682

（※1）…親Bは、例として、給与所得の場合（左表）は収入300万円、給与所得以外の場合（右表）は所得200万円としています。

(※2) …表中の数字はあくまで目安です。収入基準は収入・所得に基づく課税標準額等により設定されているため、世帯構成、障がい者の有無、各種保険料の支払い状況等により、目安の金額を上回っていても対象となる場合や、下回っていても対象とならない場合があります。

(※3) …以下の「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するかおよその確認ができますので、ご利用ください。

<進学資金シミュレーター>

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

4. 推薦の原則について

(1) 選考について

各奨学金とも推薦人数が決まっていますので、適格者であっても採用されるとは限りません。応募者数が推薦者数を上回る場合は、原則として**成績順**に選考し推薦することになります。

(2) 複数の推薦・併給について

複数の応募制の奨学金の推薦・併給の可否と、その選考については以下のとおりです。

給付奨学金	複数の応募制の給付奨学金に推薦することはありません。 ⇒併給不可 (※1) 複数の給付奨学金に応募することは可。 この場合は「財団等・成蹊会→日本学生支援機構給付奨学金→大学独自型奨学金」の順で選考します。(※2)
貸与奨学金	原則として複数の貸与奨学金への推薦はありませんが、事情によって推薦することもあります。*下記「併用貸与」参照 複数の貸与奨学金に応募することは可。 この場合は「成蹊会→日本学生支援機構」の順で選考します。
給付と貸与	両方に推薦することがあります。⇒併用可

(※1) 学部推薦制の給付奨学金（清水建設奨学金、学業成績優秀者奨励奨学金、成蹊大学貸与奨学金返済軽減支援奨学金、入学試験特別奨学金）・成蹊大学大学院奨学金との併給は可能です。

高等教育の修学支援新制度と、財団または成蹊会（給付）奨学金両方に採用になった場合、高等教育の修学支援新制度のうち、日本学生支援機構給付奨学金は停止することとし、授業料減免のみ受けることができます。詳しくはP. 11「各種奨学金の併給可否一覧」を参照してください。

(※2) 財団等の奨学金に推薦が決定した場合は、大学独自の給付奨学金の選考対象からはずれ、日本学生支援機構給付奨学金は停止し高等教育の修学支援新制度の授業料減免のみ受給する前提で選考となります。また、日本学生支援機構給付奨学金に採用となった場合、大学独自奨学金の選考対象からは外れます。なお、複数の奨学金への併願は可能ですが、必ず申請期限を厳守してください。期限後の申請は一切認めません。

(3) 併用貸与について

併用貸与とは、2つ以上の奨学金の貸与を受けることです。貸与奨学金は原則として複数の推薦はありませんが、家庭事情により家計状況が相当に厳しい場合には、併用貸与を希望することができます。併用貸与の場合は貸与総額が大きくなりますので、必要性や返還のことをよく考慮した上で申し込むようにしてください。なお、申請する財団等の条件によっては、併用貸与ができない場合があります。

＜併用貸与できるもの＞

「日本学生支援機構貸与（第一種）」と「日本学生支援機構貸与（第二種）」

「日本学生支援機構貸与（第一種・第二種）」と「成蹊会育英奨学金（貸与）」

各種給付奨学金の併給可否一覧

		修学支援新制度		日本学生支援機構貸与奨学金	大学独自奨学金（応募制） <small>大学給付・岡野・関</small>	大学独自奨学金（学部推薦制） <small>清水建設等</small>	吉祥寺ブリリアント奨学金	財団奨学金（応募制）・成蹊会（給付）
		日本学生支援機構給付奨学金	文部科学省授業料減免					
修学支援新制度	日本学生支援機構給付奨学金		○	○	※5	○	※4	※5
	文部科学省授業料減免	○		○	※1	○	○	※2
日本学生支援機構貸与奨学金		○	○		○	○	○	○
大学独自奨学金（応募制） <small>大学給付・岡野・関</small>		※5	※1	○		○	※3	×
大学独自奨学金（学部推薦制） <small>清水建設等</small>		○	○	○	○		○	○
吉祥寺ブリリアント奨学金		※4	○	○	※3	○		※3
財団奨学金（応募制）・成蹊会（給付）		※5	※2	○	×	○	※3	

選考の順序

財団・成蹊会→日本学生支援機構奨学金→大学独自奨学金(応募制)

※1…大学独自奨学金（応募制）は6月以降に選考を行います。この際修学支援新制度に採用になっている学生（適格認定（家計）により支援区分が停止となった者や授業料減免等のみを受給できる区分（多子世帯のみの区分）となっている者を除く）は選考対象外となります。大学独自奨学金採用後に修学支援新制度に採用になった学生については、日本学生支援機構給付奨学金は1年間停止し、文部科学省授業料減免のみ受給することができます。

※2…財団奨学金（応募制）・成蹊会（給付）は4月に選考を行います。この際修学支援新制度に採用になっている学生（適格認定（家計）により支援区分が停止となった者や授業料減免等のみを受給できる区分（多子世帯のみの区分）となっている者を除く）は選考対象外となります。財団奨学金・成蹊会（給付）奨学金採用後に修学支援新制度に採用になった学生については、日本学生支援機構奨学金は1年間停止し、文部科学省授業料減免のみ受給することができます。

※3…原則併給不可。吉祥寺ブリリアント奨学金の奨学生が家計基準により停止となる場合に限り応募が可能。

※4…修学支援新制度については、日本学生支援機構給付奨学金を停止するか吉祥寺ブリリアント奨学金を停止するかを選択。文部科学省授業料減免とは併用可。

※5…修学支援新制度採用者は原則併給不可。ただし、適格認定（家計）により支援区分が停止となった者や授業料減免等のみを受給できる区分（多子世帯のみの区分）となっている者については応募が可能。応募の結果、採用となった場合で、その後の適格認定（家計）により支援区分が復活した場合や給付奨学金が受給できる区分となった場合は、大学独自奨学金受給中は日本学生支援機構給付奨学金を停止し、文部科学省授業料減免のみ受給することができます。

IV. 奨学金手続きについて

1. 応募から振込までのスケジュール

奨学金の応募から振込までのスケジュールは、以下のとおりです。詳細については、各ページを参照してください。

作業項目	時期・期間	内容
応募に関する通知を確認	3月下旬～4月下旬	・応募に関する書類の配付
応募する奨学金を決める	3月下旬～4月上旬	学部生：本書P.2～11、巻末一覧参照 大学院生：本書P.3～11、22、巻末一覧参照 ・奨学金の種類の確認 ・応募資格、推薦の原則等の確認
応募申請書類を揃える	3月下旬～4月上旬	学部生：本書P.14～17 参照 大学院生：本書P.22～23 参照 ・各種証明書を用意
応募申請する	大学独自 (大学給付・岡野・関育英)	<ul style="list-style-type: none"> 学部2年次生以上 3月 24日 (火) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00 学部1年次生 4月 1日 (水) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00 本書P. 20参照 ※【関育英のみ】指導教授の推薦所見は上記日程必着。
	成蹊会	<ul style="list-style-type: none"> 学部2年次生以上 3月 24日 (火) 0:00～ 4月 7日 (火) 24:00 本書P. 20参照
	財団奨学金	<ul style="list-style-type: none"> 学部2年次生以上 (第1期) 3月 24日 (火) 0:00～ 4月 14日 (火) 24:00 (第2期) 4月 16日 (木) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00 学部1年次生 (第1期) 4月 1日 (水) 0:00～ 4月 14日 (火) 24:00 (第2期) 4月 16日 (木) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00
	参考 日本学生支援機構	<ul style="list-style-type: none"> 学部2年次生以上 (第1期) 3月 24日 (火) 0:00～ 4月 14日 (火) 24:00 (第2期) 4月 16日 (木) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00 学部1年次生 (第1期) 4月 1日 (水) 0:00～ 4月 14日 (火) 24:00 (第2期) 4月 16日 (木) 0:00～ 4月 30日 (木) 24:00
		学部生：本書P.18～20 参照 大学院生：本書P.24～26 参照 ・Formsより希望奨学金申請を行う ・必要書類データをFormsよりアップロードする ※4月8日(水)0:00-13:00及び4月15日(水)0:00-24:00はシステムメンテナンスのため入力することができません。

推薦・採用結果 を確認する	大学独自 (大学給付・ 岡野・関育英)	6月下旬	本書P.21 参照 ・SEIKEI PORTALで確認
	成蹊会	6月中旬	
	財団奨学金	推薦対象者には学生部より個別に連絡をします。	
	参考 日本学生支援機構	6月上旬	
採用手続き をする	大学独自 (大学給付・ 岡野・関育英)	7月上旬	本書P.21 参照 ・採用関係書類の提出
	成蹊会	6月中旬	
	財団奨学金	推薦対象者には学生部より個別に連絡をします。	
	参考 日本学生支援機構	6月中旬	
奨学金が 振り込まれる	大学独自 (大学給付・ 岡野・関育英)	前期:7月下旬~8月上旬 後期:11月上旬	本書P.21 参照
	成蹊会	第1回振込:7月中旬	
	財団奨学金	推薦対象者には学生部より個別に連絡をします。	
	参考 日本学生支援機構	第1回振込:6月中旬	

2. 応募申請に必要な書類（大学独自・財団等の奨学金）

奨学金の応募申請にあたっては、以下の書類が必要となります。応募受付〆切日までに不備なく提出できるように、早めに準備するようにしてください。

なお、下記（1）～（2）は奨学金希望者全員が希望奨学金申請フォームにて提出、（3）は対象者のみ転職等による減収証明書類アップロードフォームにて提出、（4）は対象者のみ郵送もしくは学生部窓口にて提出が必要となります。

本書 裏表紙の「奨学金アップロード・郵送書類チェック表」にて、漏れがないか確認しながら提出してください。

(1) 生計維持者の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書の画像データ ＜奨学金希望者全員提出＞

お住まいの市区町村の役所・役場の窓口やコンビニエンスストア（要マイナンバーカード）にて取得できます（税務署ではありません）。次ページ「課税（非課税）証明書を取得する際の注意点」を参照し、所得の有無にかかわらず生計維持者全員分（原則父母、またはこれに代わって家計を支えている者）の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書（2024（令和6）年分の収入・所得・控除等の情報が記載されているもの。）を希望奨学金申請フォームにスキャン又は画像データにて提出してください（本書P.18①参照）。

＜注意点＞

- ・ 各地方自治体によっては証明書取得時に扶養等の控除の内容について記載するか確認される場合があります。必ず省略せずに扶養等の控除の内容の記載を受けてください。扶養等の控除の内容の記載のない場合審査ができないため不備・課税証明書の再提出となります。
- ・ 課税（非課税）証明書の名称や書式は各地方自治体によって異なります。（例）市区町村民税・県民税課税証明書 等
- ・ 以下の項目が明記されたものを提出してください。（収入・所得・控除金額欄の記載が省略されているものは不可。明記されていない場合、証明書への追記をご依頼ください）

【必須記載項目】

- ①所得の内訳・種類・金額
- ②所得控除の内訳・金額・合計額
- ③人的控除（配偶者・扶養・障害者・本人該当等）の種類・内訳人数

【あればなお良いが、なくても不備としない項目】

合計所得金額・総所得金額・課税標準額・市町村民税調整控除の額等

- ・ 専業主婦等で無収入の場合は、所得金額欄に「0円」と明記されているものを提出してください。
- ・ 源泉徴収票や確定申告書（控）は受付不可とします。
- ・ 父母がいない場合は、父母に代わり家計を支えている方の課税（非課税）証明書を提出してください。
- ・ 母子または父子家庭の場合は、本人と生計を一にしている方についてのみ提出してください。
- ・ 課税（非課税）証明書全体が表示されるようにスキャンまたは撮影してください。また、スキャンまたは撮影後の画像をズームしても文字や数字がぼやけないかを確認してください。文字や数字が不鮮明だったり、一部分のみがアップになった画像等の場合、不備として再提出いただく場合があります。

課税（非課税）証明書を取得する際の注意点
（よい例を参考に必須項目を記載した証明書を取得してください）

よい例		令和7年度（令和6年分所得） 市民税・県民税所得額・課税額証明書						
住所	東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1	氏名	成蹊 太郎	生年月日	昭和45年2月1日			
合計所得金額 (令和6年分)	所得割額	均等割額	年税額	課税標準額：1,197,200円 調整控除（市）：6,900円 調整控除（県）：4,600円				
	市	64,900円	3,500円			114,100円		
2,756,800円	県	43,200円	2,500円	病 あればなおし、なくても不備としない項目 合計所得金額、総所得金額等、課税標準額、 市町村民税調整控除額				
所得の内訳	給与所得（所得金額調整控除後）	2,756,800円	収入の内訳	給与収入	4,000,000円	その他の控除の内訳	控除対象配偶者	無（***）
	以下余白		専従給与収入	***	計 1人			
			公的年金等収入	***	うち老人扶養 0人 (内同居老親等 0人)			
			雑損控除	***	内同居特別障害者 0人			
			医療費控除	***	内特定扶養 1人			
			社会保険料控除	623,549円	本人を除く 障害者		特別障害者 0人 その他障害者 0人	
			小規模企業共済等掛金控除	***	本人該当項目		無（***）	
			生命保険料控除	56,000円	16歳未満の扶養親族		0人	
			地震保険料控除	***				
			配偶者特別控除	***				
備考		基礎控除・その他の控除	880,000円					

必須項目①
所得の内訳・種類・金額

必須項目②
所得控除の内訳・種類・金額

必須項目③
人的控除（配偶者・扶養・障害者・本人該当等）の種類・内訳人数

不備・再提出となる例		令和7年度（令和6年分所得） 市民税・県民税所得額・課税額証明書									
住所	東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1	氏名	成蹊 太郎	生年月日	昭和45年2月1日						
合計所得金額 (令和6年分)	所得割額	均等割額	年税額	課税標準額：***円 調整控除（市）：***円 調整控除（県）：***円							
	市	***	***			***					
2,756,800円	県	***	***	所得の内訳							
						収入の内訳	給与収入	***	その他の控除の内訳	控除対象配偶者	無（***）
						専従給与収入	***	計 ***人			
						公的年金等収入	***	うち老人扶養 ***人 (内同居老親等 ***人)			
						雑損控除	***	内同居特別障害者 ***人			
						医療費控除	***	内特定扶養 ***人			
						社会保険料控除	***	本人を除く 障害者		特別障害者 ***人 その他障害者 ***人	
						小規模企業共済等掛金控除	***	本人該当項目		***	
						生命保険料控除	***	16歳未満の扶養親族		***人	
						地震保険料控除	***				
				配偶者特別控除	***						
備考				基礎控除・その他の控除	***						

不備となるポイント①
所得控除情報が省略されている

不備となるポイント②
人的控除の種類・内訳人数が省略されている

(2) 振込口座通帳等の画像データ<奨学金希望者全員提出>

奨学金の振込を希望する口座の通帳等の画像データ（口座情報・氏名が確認できる部分）を希望奨学金申請フォームに提出してください。

※指定できるのは、学生本人名義の口座となります。保証人名義の口座は指定できません。

(3) 家計急変に関する書類の画像データ<希望者のみ提出>

上記(1)生計維持者の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書の画像データ<奨学金希望者全員提出>で提出した税情報等に基づいた家計基準の適否を判定した結果、基準を満たさない場合、以下の事由による家計急変後の収入で家計基準の適否の判定を行うことができます。

事由：生計維持者（原則父母）が2024年1月2日以降に転職・失職・転業・廃業（病気・事故による就業不能を含む）により給与収入または事業所得の減収があること
（※給与収入、事業所得以外の所得は課税証明書記載の金額を審査に使用します。）

家計急変後の収入で判定を希望する者は、該当する事情に応じて、以下の各種証明書等の画像を転職等による減収証明書類アップロードフォームに提出してください。

フォームにアップロードする証明書は、全体が表示されるようにスキャンまたは撮影してください。また、スキャンまたは撮影後の画像をズームしても文字や数字がぼやけないかを確認してください。文字や数字が不鮮明だったり、一部分のみがアップになった画像等必要事項が読み取れない場合、不備として再提出いただく場合があります。

収入の種類	生計維持者（原則父母）の家計急変事情	証明書の画像	家計急変後の所得
給与収入 会社員、公務員、 パート、 アルバイト等	2024年1月2日～2025年1月1日に転職	・2025（令和7）年源泉徴収票	源泉徴収票記載の給与収入額から総所得金額を算定します。
	2025年1月2日以降に転職	・直近3か月分の給与明細書、または直近3か月分の各月の給与支払証明書、または直近または今後3か月分の各月の給与支払見込証明書<注①> ・前職の源泉徴収票	直近の給与支払額（課税分）の平均を12倍（ボーナス・賞与等有の場合は15倍）した金額から給与所得控除額を差し引き、総所得金額を算定します。
	2024年1月2日以降に失職後未就職 ※病気・事故による就業不能で、傷病手当金を受けている場合も含まれます。	・退職証明書または雇用保険受給資格者証等 ・（病気・事故による就業不能の場合）休職証明書<注②>等	給与収入0円として算定します。 無収入の状況についてフォームで補足説明を入力してください。
事業所得 自営業、自由業等	2024年1月2日～2025年1月1日に転業	・2025（令和7）年分確定申告書<注③>	確定申告書の所得により総所得金額を算定します。
	2025年1月2日以降に転業	・直近3か月分の帳簿<注④> ・現職の開業届の写し ・前職の廃業届の写し	直近3か月分の所得の平均を12倍して総所得金額を算定します。
	2024年1月2日以降に廃業後無収入	・廃業届	事業所得0円として算定します。 無収入の状況についてフォームで補足説明を入力してください。

- <注①> 転職後のボーナス・賞与等の有無の入力も必要となります。
- <注②> 傷病による休暇（休職）の期間について記載された勤務先発行の証明書（様式自由又は所定の様式を大学HPの奨学金ページからダウンロードし、必要事項を記入）を提出してください。
- <注③> 「確定申告書」または「申告内容確認票」第一表・第二表を提出してください。「市民税・県民税申告書（控）」は「確定申告書（控）」と同等の扱いとします。なお、確定申告書の内容が正しいか、別途証明書類を求める場合があります。偽った内容を申告した場合は採用が取り消されることがあります。
- <注④> 帳簿には「事業所名（屋号）」や「事業主名」、月ごとの「売上」「経費」「所得金額（売上から経費を差し引いた金額）」の記載が必要です。また、売上及び経費がともに0円の月があった場合も帳簿の提出は必要となります。

(4) その他

関育英奨学金を希望する場合

⇒ 「指導教授の推薦所見」を郵送もしくは学生部窓口に提出してください。（本書P.3参照）

「指導教授の推薦所見」提出先

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学学生部奨学金担当宛

※奨学金応募受付〆切日（P.20参照）必着のこと！

3. 応募方法について（大学独自・財団等の奨学金）

（1）応募申請について

※日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）の応募方法については、別途大学ホームページまたはSEIKEI PORTALにてお知らせいたします。

日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）と大学独自・財団等の奨学金の併願を希望される場合は、本奨学金ガイドおよび日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）の応募方法に関する文書を必ずご確認ください。

応募にあたっては、応募資格や推薦の原則等をよく確認し、下記の要領により応募申請手続きをしてください。提出書類については、「奨学金アップロード・郵送書類チェック表」（本書裏表紙）にて、漏れがないかどうか事前に確認してください。

フォームでの書類アップロードが必要になりますので、「2. 応募申請に必要な書類（大学独自・財団等の奨学金）」の項目をよく読み、必要な書類を揃えてから下記の入力を行ってください。

虚偽の申告を行った場合、採用になった場合でもその資格を取り消し、給付した奨学金の返還を求めたり、以後在学中の出願が認められないことがあります。現在の状況を正しく回答してください。

【大学独自・財団・成蹊会育英奨学金申請手順】

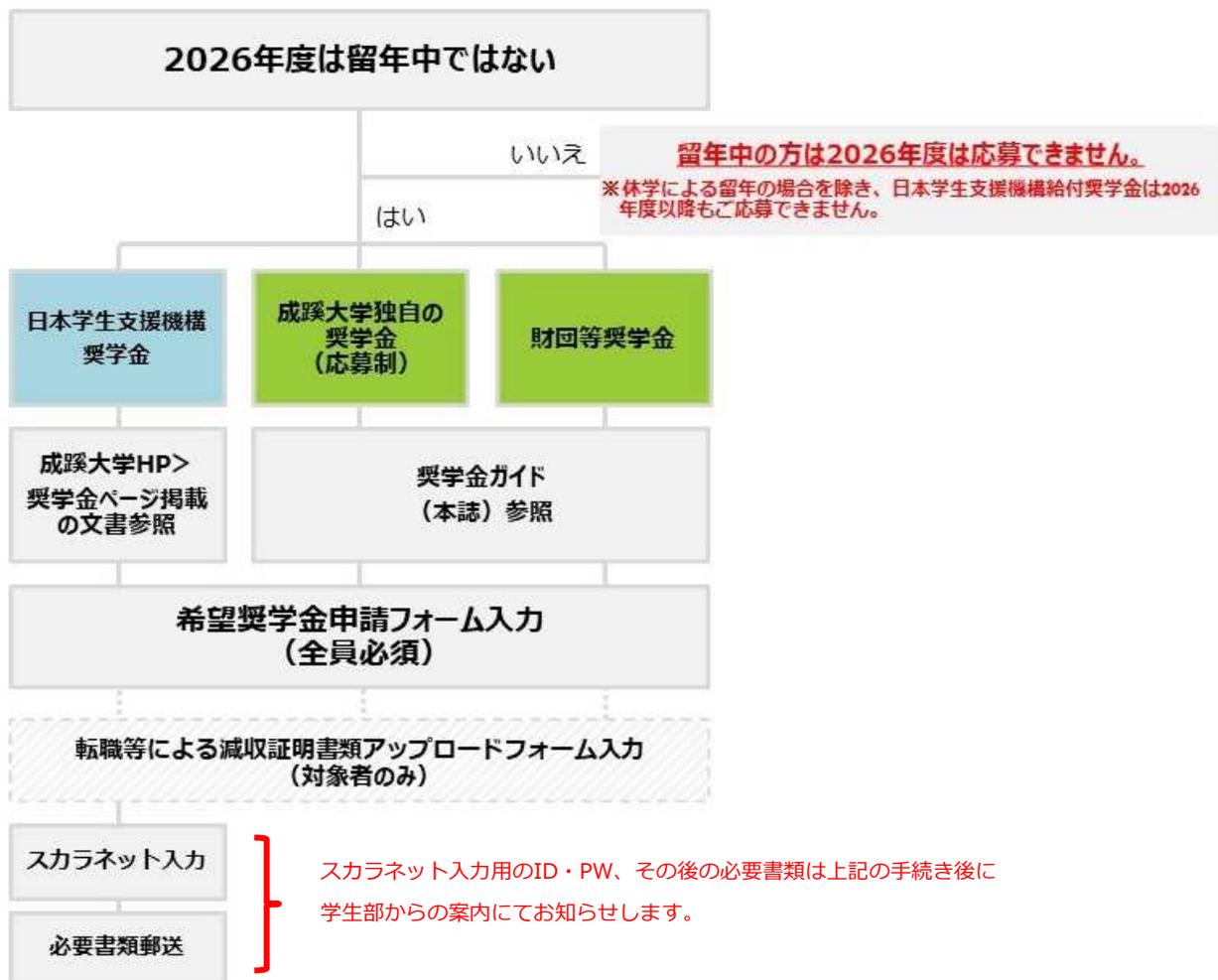
以下の必要な手続きを完了した者のみ申請者とみなします（手続きの対象者をよく確認してください）。いずれかが未入力であることによる督促は行いませんので、手順に沿って手続きしてください。

手続きには学生に対して発行したMicrosoft365アカウントでのサインインが必要です。

手順	手順内容
①	<p>【奨学金希望者全員の入力が必要です】</p> <p>希望奨学金申請フォームで申請</p> <p>URL : https://forms.office.com/r/KdnuB0V2ey</p>  <p>日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）も同フォーム内で申請できます。 日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）と大学独自・財団等の奨学金の併願を希望する場合は、本奨学金ガイドおよび日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）の応募方法に関する文書を確認しながら、希望する奨学金を一度にすべて申請してください。</p>
②	<p>【以下の対象者のみ入力が必要です】</p> <p><対象者></p> <p>手順①で提出する税情報等に基づいた基準額が家計基準を満たさず、以下の事由による家計急変後の所得による審査を希望し、減収を証明する書類を提出できる場合は以下のフォームに提出してください。</p> <p>事由：生計維持者（原則父母）のいずれか、または両方が2024年1月2日以降の転職、失職、転業、廃業（病気・事故による就業不能含む）により給与収入または事業所得の減収があること</p> <p>※給与収入、事業所得以外の所得は課税証明書記載の金額を審査に使用します。</p>

転職等による減収証明書類アップロードフォームに入力

URL : <https://forms.office.com/r/WBuHyH7j0Y>



(2) 奨学金応募受付について

奨学金の応募申請は、下記の日程で受け付けます。奨学金の種類によって〆切日が異なりますので、ご注意ください。

【奨学金応募受付〆切日】

<成蹊会育英奨学金・財団等の奨学金のみ>

対象者	応募受付期間
学部2～4年生	3月24日（火）0:00～4月7日（火）24:00

<成蹊大学給付奨学金・岡野奨学金・関育英奨学金のみ>

対象者	応募受付期間
学部2～4年生	3月24日（火）0:00～4月30日（木）24:00
学部1年生	4月1日（水）0:00～4月30日（木）24:00

※4月8日（水）0:00-13:00及び4月15日（水）0:00-24:00はシステムメンテナンス作業のため希望奨学金申請フォームの入力ができません。

※大学指定アドレス（u+学籍番号@cc.seikei.ac.jp）は任意のアドレス（GmailやYahooメール等）に転送設定が可能ですので、[こちら](#)から転送設定を行ってください。

※上記期限は厳守となります。期限後に申請があったものは受け付けません。

※紙媒体での提出物（【関育英のみ】指導教授の推薦所見）は同日必着が期限となります。

※応募書類の受付後、必要と判断した場合は面談を実施する場合があります。

(3) 申請書類に不備があった場合について

申請書類に不備があった場合は、まずは大学指定アドレス（u+学籍番号@cc.seikei.ac.jp）へメール、または希望奨学金申請フォームで入力された連絡先（携帯電話番号）に電話にてご連絡いたしますので、必ず確認のうえ手続きを行ってください。

メールまたは電話で指定した期限までに不備が訂正されない場合、希望奨学金申請フォームで入力された連絡先（携帯電話番号）に電話で一度のみ督促の電話をします。留守番電話、不通だった場合も再度の架電はしませんのでご注意ください。

メール・電話での督促の結果、最終的に下記の不備訂正限度期日までに不備が訂正されない場合はその時点で提出されている書類で審査可能な場合はそれにより審査を行い、審査不能な場合は申請を取り下げたものとして扱います。申請期間中はメール及び電話の着信に注意を払い、連絡が来た場合は早急に対応してください。0422-37-3707もしくは0422-37-3539から不在着信があったら必ず折り返し電話をしてください。

【不備訂正限度期日】

<成蹊会育英奨学金・財団等の奨学金のみ>

学部2～4年生：4月14日（火）17:00

<成蹊大学給付奨学金・岡野奨学金・関育英奨学金のみ>

学部1～4年生：5月8日（金）17:00

4. 採用の決定

応募から採用が決まるまでの期間は、奨学金によって異なりますが、2～3ヵ月ほどかかります。

採用者については、SEIKEI PORTALで発表しますので、SEIKEI PORTALは常に確認するようにしてください。おおまかな日程は本書P. 12～13のスケジュール表を参照してください。

なお、授業料等納付金（以下「納付金」）が未納の場合、奨学金の給付をすることができません。受給者に決定した場合でも、納付金が未納の場合は、奨学金の給付を留保します。納付金の納入期日までに納入することが困難な場合は、成蹊学園財務部経理課（0422-37-3519）に願い出て、以下の期日までに延納の手続きを行うことにより奨学金の給付を受けることができます。

<2023年度以降入学者>前期：4月1日（水）、後期：9月24日（木）（予定）（口座振替）

<2022年度以前入学者>前期：4月20日（月）、後期：10月13日（火）（振込依頼書）

延納の願出により奨学金の給付を受けた後、当該期間の納付金の納付を行わず、納付金未納による除籍となった場合、当該期間に給付した奨学金の返還を求めます。また、納付金の振込が定められた期限までに確認できず、未納状態のまま当該年度内に奨学金振込処理が可能な日付を超過した場合、年度をまたいでの奨学金振込はできないため、当該年度に採用となった奨学金は受給することができなくなります。

V. 大学院生の奨学金について

1. 奨学金の種類

本学で扱っている大学院生対象の奨学金は次のとおりです。

〈貸与〉 成蹊会育英奨学金（本書P.4参照）

〈給付〉 成蹊大学大学院奨学金（応募制ではありません。該当者に個別に周知します。）

関育英奨学金（本書P.3参照）

成蹊会育英奨学金（本書P.4参照）

関彰育英会奨学金（本書P.5参照）

日揮・実吉奨学会奨学金（本書P.5参照）

オーディオテクニカ奨学金（本書P.6参照）

旭硝子財団奨学金（大学HP参照）

エフテック奨学財団奨学金（大学HP参照）

【給付奨学金選考順について】

関彰育英会奨学金→成蹊会育英給付奨学金→日揮・実吉奨学会奨学金

→オーディオテクニカ奨学金→旭硝子財団奨学金→エフテック奨学財団奨学金→関育英奨学金

※複数の奨学金への併願は可能ですが、併給は不可となります。

2. 【大学院生】応募申請に必要な書類

奨学金の応募申請にあたっては、以下の書類が必要となります。応募〆切日までに不備なく提出できるように、早めに準備するようにしてください。

なお、下記(1)～(2)は奨学金希望者全員が希望奨学金申請フォームにて提出、(3)は対象者のみ希望奨学金申請フォームにて提出、(4)は対象者のみ転職等による減収証明書類アップロードフォームにて提出、(5)は対象者のみ郵送もしくは学生部窓口へ提出が必要となります。

本書裏表紙の「奨学金アップロード・郵送書類チェック表」にて、漏れがないか確認しながら提出してください。

(1) 生計維持者の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書の画像データ 〈奨学金希望者全員提出〉

本書P.14～15を参照し、父と母（またはこれに代わって家計を支えている者）の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書（2024（令和6）年分の収入・所得が記載されているもの。市区町村役場やコンビニエンスストア（要マイナンバーカード）にて発行。）を希望奨学金申請フォームにスキャン又は画像データにて提出してください。

(2) 振込口座通帳等の画像データ〈奨学金希望者全員提出〉

奨学金の振込を希望する口座の通帳等の画像データ（口座情報・氏名が確認できる部分）を希望奨学金申請フォームに提出してください。

※指定できるのは、学生本人名義の口座となります。保証人名義の口座は指定できません。

(3) 成績証明書の画像データ<該当者のみ提出>

他大学（成蹊大学以外）から成蹊大学大学院に入学した場合または編入学等による入学の場合は、前の学校の成績表の画像データを希望奨学金申請フォームに提出してください。
 ※成蹊大学から成蹊大学大学院に進学した方は提出不要です。

(4) 家計急変に関する書類の画像データ<希望者のみ提出>

上記(1)生計維持者の2025（令和7）年度課税（非課税）証明書の画像データ<奨学金希望者全員提出>で提出した税情報等に基づいた家計基準の適否を判定した結果、基準を満たさなかった場合、以下の事由による家計急変後の収入で家計基準の適否の判定を行うことができます。

事由：生計維持者（原則父母）が2024年1月2日以降に転職・退職・失職・廃業（病気・事故による就業不能を含む）

家計急変後の収入で判定を希望する者は、本書P. 16～17を参照し、該当する事情に応じて、各種証明書等の画像を転職等による減収証明書類アップロードフォームに提出してください。

(5) その他

関育英奨学金を希望する場合

⇒「指導教授の推薦所見」を郵送もしくは学生部窓口提出してください。（本書P. 3、17参照）

【参考】提出書類については、下表を参考にしてください。

<大学院生申請奨学金別提出書類>

	①生計維持者の課税（非課税）証明書の画像データ	②振込口座通帳等の画像データ	③成績証明書の画像データ	④家計急変に関する書類の画像データ	⑤指導教授の推薦所見（郵送もしくは窓口提出）
成蹊会育英（貸与・給付）					×
関育英	○	○	○ ※1	○ ※2	○
関彰育英会、日揮・実吉奨学会、オーディオテクニカ					×

※1 成蹊大学から成蹊大学大学院に進学した方は提出不要

※2 家計急変後の収入で家計基準の適否の判定を希望しない者は提出不要

3. 応募について

(1) 応募申請について

※日本学生支援機構貸与奨学金・一部財団の応募方法については、別途大学ホームページ、またはSEIKEI PORTALにてお知らせいたします。

日本学生支援機構貸与奨学金と大学独自・財団等の奨学金の併願を希望される場合は、本奨学金ガイドおよび日本学生支援機構貸与奨学金の応募方法に関する文書を必ずご確認ください。

応募にあたっては、応募資格や推薦の原則等をよく確認し、下記の要領により応募申請手続きをしてください。各財団奨学金については、各財団のご厚意に謝意を表し、各財団から求められる課題提出や交流会参加について成蹊大学（大学院）の代表として責任をもって取り組むことができる方のみ応募してください。提出書類については、「奨学金アップロード・郵送書類チェック表」（本書 裏表紙）にて、漏れがないかどうか事前に確認してください。

なお、成蹊大学から成蹊大学大学院博士前期課程または成蹊大学大学院博士前期課程から博士後期課程に進学される方は、応募受付期間中であれば、3/31（火）以前に進学前の学部生または博士前期課程の学生としてのMicrosoft365アカウントを利用して申請を行うことが可能です。4/1（水）以降は、進学後の大学院生としてのMicrosoft365アカウントを利用して申請を行ってください。

【各種奨学金応募申請手順】

種別	申請方法	対象
①日本学生支援機構貸与奨学金	大学HP（奨学金ページ） 参照	博士前期・後期全学年
②成蹊大学大学院奨学金	学生部より対象者へ別途SEIKEI PORTALにてお知らせ	博士前期2年次生 博士後期2,3年次生
③成蹊会育英奨学金（貸与・給付）	本ガイドP. 24～26参照	博士前期1年次生
④関育英奨学金	本ガイドP. 24～26参照	博士前期・後期全学年電気・原子力専攻者
⑤関彰育英会奨学金	本ガイドP. 24～26参照	博士前期1年次生
⑥日揮・実吉奨学会奨学金	本ガイドP. 24～26参照	博士前期1年次理工学研究科
⑦オーディオテクニカ奨学金	本ガイドP. 24～26参照	博士前期1年次理工学研究科
⑧旭硝子財団奨学金	大学HP（奨学金ページ） 参照	大学HP（奨学金ページ） 参照
⑨エフテック奨学財団奨学金	大学HP（奨学金ページ） 参照	大学HP（奨学金ページ） 参照

※①～③、⑤について、研究科や専攻等による制限はありません。

【大学独自・財団・成蹊会育英奨学金申請手順】

以下の必要な手続きを完了した者のみ申請者とみなします（対象者をよく確認してください）。いずれかが未入力であることによる督促は行いませんので、手順に沿って手続きしてください。

手続きには学生に対して発行したMicrosoft365アカウントでのサインインが必要です。

手順	手順内容
①	<p>【奨学金希望者全員の入力が必要です】</p> <p>希望奨学金申請フォームで申請</p> <p>URL : https://forms.office.com/r/KdnuB0V2ey</p> <p>日本学生支援機構貸与奨学金も同フォーム内で申請できます。 日本学生支援機構貸与奨学金と大学独自・財団等の奨学金の併願を希望する場合は、本奨学金ガイドおよび日本学生支援機構貸与奨学金の応募方法に関する文書を確認しながら、希望する奨学金を一度にすべて申請してください。</p> 
②	<p>【以下の対象者のみ入力が必要です】</p> <p><対象者> 手順①で提出する税情報等に基づいた基準額が家計基準を満たさず、以下の事由による家計急変後の所得による審査を希望し、減収を証明する書類を提出できる場合は以下のフォームに提出してください。 事由：生計維持者（原則父母）のいずれか、または両方が2024年1月2日以降に転職・失職・転業・廃業（病気・事故による就業不能を含む）により給与収入または事業所得の減収があること ※給与収入、事業所得以外の所得は課税証明書記載の金額を審査に使用します。</p> <p>転職等による減収証明書類アップロードフォームに入力</p> <p>URL : https://forms.office.com/r/WBuHyH7j0Y</p> 

(2) 応募受付について

奨学金の応募申請は、下記の日程で受け付けます。奨学金の種類によって〆切日が異なりますので、ご注意ください。

【奨学金応募受付〆切日】

< 関育英奨学金以外 >

応募受付期間

3月24日 (火) 0:00 ~ 4月7日 (火) 24:00

< 関育英奨学金のみ >

応募受付期間

3月24日 (火) 0:00 ~ 4月30日 (木) 24:00

※4月8日(水)0:00-13:00及び4月15日(水)0:00-24:00はシステムメンテナンス作業のため希望奨学金申請フォームの入力ができません。

※大学指定アドレス (d+学籍番号@cc.seikei.ac.jp) は任意のアドレス (GmailやYahooメール等) に転送設定が可能ですので、[こちら](#)から転送設定を行ってください。

※上記期限は厳守となります。期限後に申請があったものは受け付けません。

※紙媒体での提出物 (【関育英のみ】指導教授の推薦所見) は同日必着が期限となります。

※応募書類の受付後、必要と判断した場合は面談を実施する場合があります。

(3) 申請書類に不備があった場合について

申請書類に不備があった場合は、まずは大学指定アドレス (d+学籍番号@cc.seikei.ac.jp) へメール、または希望奨学金申請フォームで入力された連絡先 (携帯電話番号) に電話にてご連絡いたしますので、必ず確認のうえ手続きを行ってください。

メールまたは電話で指定した期限までに不備が訂正されない場合、希望奨学金申請フォームで入力された連絡先 (携帯電話番号) に電話で一度のみ督促の電話をします。留守番電話、不通だった場合も再度の架電はしませんのでご注意ください。

メール・電話での督促の結果、最終的に下記の不備訂正限度期日までに不備が訂正されない場合はその時点で提出されている書類で審査可能な場合はそれにより審査を行い、審査不能な場合は申請を取り下げたものとして扱います。申請期間中はメール及び電話の着信に注意を払い、連絡が来た場合は早急に対応してください。0422-37-3707もしくは0422-37-3539から不在着信があったら必ず折り返し電話をしてください。

【不備訂正限度期日】

< 関育英奨学金以外 > 4月14日 (火) 17:00

< 関育英奨学金のみ > 5月8日 (金) 17:00

VI. 参考・資料

奨学金応募・採用状況（2025年度）

< 奨学金応募・採用状況（2025年度） > ※延べ人数

< 定期採用 >	応募者数	採用者数
成蹊大学給付奨学金（1年次生）	83	32
成蹊大学給付奨学金（2年次生以上）	125	52
岡野奨学金	34	0
関育英奨学金	3	0
成蹊会育英奨学金（貸与） ※学部・大学院含む	5	2
成蹊会育英奨学金（給付） ※学部・大学院含む	19	10
関彰育英会奨学金 ※学部・大学院含む	11	1
日揮・実吉奨学会奨学金 ※学部・大学院含む	10	1
小田急財団奨学金	0	0
三菱UFJ信託奨学財団奨学金	7	2
中村積善会奨学金（給付）	13	1
春秋育英会	11	2
野崎わかば会	2	1
OBC和田財団奨学金	5	1
オーディオテクニカ奨学会奨学金	募集なし	

＜奨学金制度一覧表＞

名 称		種別	給付・貸与額	応募資格	支給期間	募集人数	備考
学 内	成蹊大学給付奨学金	給付	年額 300,000円	全学部1～4年次生	1年間	160名	
	岡野奨学金	給付	年額 90,000円	全学部2～4年次生	1年間	10名	
	関育英奨学金	給付	年額 120,000円	電気・原子力関係専攻の学部生、大学院生	1年間	若干名	
	成蹊会育英奨学金(給付)	給付	月額 40,000円	全学部2～4年次生、大学院博士前期1年次生	最短修業年限	10名	
	成蹊会育英奨学金(貸与)	貸与 (無利子)	月額 50,000円	全学部2～4年次生、大学院博士前期1年次生	最短修業年限	15名	地方出身者に対し、生活支援 制度(月額3万円給付)あり
	成蹊大学社会人入学生奨学金	給付	年額 300,000円	全学部2～4年次生 AOマルデス社会人入試により入学した者	1年間	15名以内	該当者には個別に周知
	清水建設奨学金	給付	年額 200,000円	全学部3・4年次生	1年間	28名	
	成蹊大学学業成績優秀者奨励奨学金	給付	年額 100,000円	全学部2～4年次生	1年間	120名	学部推薦 (該当者には個別に通知)
	成蹊大学貸与奨学金返済軽減支援奨学金	給付	年額 300,000円	全学部2～4年次生	1年間	50名	
	成蹊大学入学試験特別奨学金	給付	年額 授業料の2分の1	S方式入試を受験する者	1年間	S方式合格者全員	学部推薦 (入学時に手続き)
成蹊大学大学院奨学金	給付	年額 納付金の2分の1額(A種) 納付金の4分の1額(B種)	A種は博士後期2年次生以上 B種は博士前期2年次生 (※長期履修者は下記参照)	最短修業年限	対象者 全員	該当者には個別に周知	
日 本 学 生 支 援 機 構	日本学生支援機構給付奨学金	給付	月額 (自宅) 38,300円 第I区分の場合 25,600円 第II区分の場合 12,800円 第III区分の場合 9,600円 第IV区分の場合 ※多子世帯 (自宅外) 75,800円 第I区分の場合 50,600円 第II区分の場合 25,300円 第III区分の場合 19,000円 第IV区分の場合 ※多子世帯	学部生	原則最短修業年限	制限なし (予定)	授業料減免とセット (第IV区分に該当する理系学部 学生・支援区分外に該当する多 子世帯学生は授業料等減免のみ 支援対象) 家計急変採用あり (家計急変者対象)
	日本学生支援機構貸与奨学金 第一種 (大学)	貸与 (無利子)	月額 (自宅、自宅外問わず) 20,000円・30,000円・40,000円 (自宅)54,000円、(自宅外)50,000円・64,000円 より選択	学部生	原則最短修業年限	制限なし (予定)	家計急変者への制度として 以下2つの制度あり ・緊急採用 (第一種) ・応急採用 (第二種)
	日本学生支援機構貸与奨学金 第二種 (大学)	貸与 (有利子)	月額 20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・ 80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円 より選択	学部生	原則最短修業年限	制限なし (予定)	
	日本学生支援機構貸与奨学金 第一種 (大学院)	貸与 (無利子)	月額 (博士前期) 50,000円・88,000円 より選択 (博士後期) 80,000円・122,000円 より選択	大学院生	原則最短修業年限	制限なし (予定)	
	日本学生支援機構貸与奨学金 授業料後払い制度 (大学院)	貸与 (無利子)	授業料支援金 文系 年額 550,000円・理系 年額 770,000円 生活費奨学金 月額 0円・20,000円・40,000円から選択	大学院生 博士前期課程	原則最短修業年限	制限なし (予定)	
	日本学生支援機構貸与奨学金 第二種 (大学院)	貸与 (有利子)	月額 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円 より選択	大学院生	原則最短修業年限	制限なし (予定)	
財 団 他	三菱UFJ信託奨学財団奨学金	給付	月額 70,000円	経済・経営・法学部 2年次生	最短修業年限	2名	各財団の要件・優先事項あり 詳細は学部生P.5～6、 大学院生P.22を参照
	関彰育英会奨学金	給付	月額 50,000円	全学部2年次生以上 博士前期課程1年次生	最短修業年限	1名	
	中村積善会奨学金	給付	月額 50,000円	全学部2年次生以上	最短修業年限	1名	
	OBC和田財団奨学金	給付	月額 40,000円	全学部2年次生	最長3年間	2名	
	日揮・実吉奨学会奨学金	給付	年額 400,000円	理工学部2年次生以上 理工学研究科博士前期課程1年次生	1年間	1名	
	野崎わかば会奨学金	給付	月額 30,000円	理工学科(データ数理・コンピュータ 科学専攻のみ)3年次生	最短修業年限	1名	
	春秋育英会奨学金	給付	月額 30,000円	全学部2年次生以上	最短修業年限	2名	
	小田急財団奨学金	給付	月額 22,000円	全学部3年次生	最短修業年限	1名	
	オーディオテクニカ奨学金	給付	月額 20,000円	理工学部2年次生以上 理工学研究科博士前期課程1年次生	最短修業年限	1名	

■ 網掛けの奨学金は応募制ではありませんので応募はできません。

※ 長期履修者については博士前期3年次生以上で、給付年額は納付金の8分の1額(B種)とする。

奨学金ガイド 2026年度版

成蹊大学 学生部

180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

＜奨学金アップロード・郵送書類チェック表＞

- ※1. 日本学生支援機構奨学金(貸与・給付)を希望する方は、別途レジュメを確認してください。
- ※2. 申請するにあたって下記の書類がそろっているか、再度確認してください。
- ※3. 提出書類の詳細については本書(学部生 P.14～17、大学院生 P.22～23)を確認してください。

フォームにアップロードする書類	学部生	大学院生
① 生計維持者の 2025(令和 7)年度課税(非課税)証明書の画像データ(P.14～15) ※P.14～15をよく読み、不備のない証明書を提出してください。 ※生計維持者全員分(原則父母)が必要です。専業主婦等で無収入の場合でも、所得金額欄に「0」と明記されているものを提出してください。		
② 振込口座通帳等の画像データ(学部生 P.16 大学院生 P.22) ※本人口座以外は指定不可		
③ 成績証明書の画像データ(P.23) ※大学院生の該当者のみ	/	
④ 家計急変に関する書類の画像データ(P.16～17) ※希望者のみ		

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">郵送または窓口に提出する書類</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(該当者のみ提出してください)</div>	学部生	大学院生
提出先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学学生部奨学金担当宛		
① 関育英奨学金希望者:指導教授の推薦所見 (学部生 P.17 大学院生 P.23)		